

あつま

議会だより

9月定例会号

No. 141

平成22年10月発行



コクワ (鹿沼・長谷農園)

目次	掲載ページ
○委員会活動レポート	
・ 総務文教：旧油田の油流出対策、スポーツセンター及びスタードームの利用状況 フォーラムビレッジ実施計画	2
・ 産業建設：口蹄疫対策、建築設計委託料の積算方法	3
○一般質問	
・ 軽舞小学校跡地、公営住宅、高齢者の所在確認	井上次男 4
・ 公営住宅駐車場、防災対策	海沼裕作 5
・ 特産品開発・移住定住	今村昭一 6
・ 子宮頸がん予防、独居老人の救急対応	三國和江 7
・ 8月大雨災害	米田俊之 8
・ 防災対策、ハスカップの振興、交通安全対策、観光振興、 消防分遣所の役割、窓口の現金管理、公用車の処分	下司義之 9
・ 少子化対応	木村幸一 10
○追跡レポート：一般質問その後	11
○研修レポート：胆振支庁管内町村議会議員研修会	12
○議決案件（賛否状況）	13
○臨時議会報告・あとがき	14

総務文教常任委員会

委員会は去る7月14日、事務調査現地調査を行い、その結果を第3回定例会に報告した。事務調査3件、現地調査1件より抜粋

旧油田の油流出 対策

問 町で廃棄処理を年4回行っているということだが、1回あたりどれぐらい処理をしているか。

まちづくり推進課参事 4回分一時貯めて10月に処理している。平成20年は320kg、平成21年は620kg、今年はさらに多くなると思われる。

問 再資源化はできないか。

まちづくり推進課参事 できれば再利用したいが、そのためには調査を行い、



宇隆地区油井跡

利用目的を明確にしなければならぬ。

スポーツセンター 及びスタードーム の利用状況

問 利用料金の見直しをしなければならぬと思うが。

生涯学習課参事 厚真、安平、むかわ町民は協定により無料になっているが、安平、むかわの施設が有料となっていることから、厚真町内の施設も料金の見直しが必要である。

問 町外者が町内者を装った利用料の支払いを逃れているということはないか。

生涯学習課参事 町外者が混在している町内の団体で、構成員の町外比率が高くなった事例があり、現在は町民2割以上、かつ、鶴川、安平を含めて5割以上の構成でなければ有料としている。

フォーラムビレッツ ジ実施計画の調査

問 フォーラムビレッツは、地区独自の条例に基づいて建物を建築しなければならぬということであるが、分譲に影響はないか。

まちづくり推進課参事 良好な環境を守るためにルールを決めた。売れる売れないは現状では判断できない。

問 容積率と建ぺい率をここまで厳しい値にした

のはなぜか。
主幹 優良田園住宅法に関連した補助金を受けるために必要であった。

問 外国人が土地の購入を求めた時にどのように対応するか。

まちづくり推進課参事 不動産業者からそのような問い合わせもあったが、町としては定住を目的としているので、お断りした。

問 優良田園住宅建設の基本方針は平成21年5月11日施行ということだが、どのような成り行きで決められたか。
主幹 庁内で作成し、道と協議して策定した。法律上、議会の意見は必要としない。

問 分譲を民間に委託してはどうか。

まちづくり推進課参事 現在は分譲を民間に委託する考えはない。

委員会活

産業建設常任委員会

質 疑

委員会は去る7月30日、事務調査現地調査を行い、その結果を第3回定例会に報告した。事務調査2件を掲載。

口 蹄 疫 对 策

問 各酪農家で、消毒はどの場所、どの位の量を、どのようにするのか。

産業経済課長 マニユアルでは、通常の出入り口、車両が出入りするところには消石灰を厚めにまくということ、消石灰1袋20キ口あたり20㎡から40㎡となっている。

畜舎の出入り口には踏み込み消毒槽を置いて、強アルカリか強酸性の消毒剤を入れて、畜舎を出入りするときは、長靴を浸して消毒する。

問 今回のウイルスは非常に強いという説明があった。口蹄疫自体のウイルスは、どのような種類に分かれているのか。

産業経済課長 口蹄疫ウイルスは4種類ほどの型がある。平成12年の型と今回の型は違うという情報は流れてきている。中国、韓国、台湾で発生し

ているO型のウイルスに非常に似ている。

問 今回初めてワクチンが使用されたが、ワクチンの効用と使用方法について教えて欲しい。

産業経済課長 今回は感染のまん延を防ぐために特別に使用した。使用方法は注射で打つということだが、通常の防疫ではワクチンは使用しない。ワクチンを使用すると発症は抑えられるが、口蹄疫ウイルスはそのまま残るのでいつまでたってもウイルスを駆逐できない。国際的にも非常事態のときだけに使うことになっている。

問 本郷第2団地のように、毎年同じものを建てる場合には、同じ図面間で間に合うのではないかと心配している。

建設課主幹 同じ設計事務所が連続して仕事を取っている。流用できる部分には係数を使って設計料を低くする努力をしている。設計の成果である図面のデータなどは町のものになるので、次に請け負った会社に渡すことは出来るが、同じような形の建物でも、社会情勢や構造基準などが年々厳しくなったり、バリアフリー対応などで、調整、変更しなければならず、まったく同じ設計というわけにはいかない。

建築設計委託料の積算方法

問 表町団地や本郷団地など、それぞれ同じ設計業者が請け負っているのではないかと心配している。設計の著作権、構造計算のデータの活用はどうか。

建設課主幹 同じ設計事務所が連続して仕事を取っている。流用できる部分には係数を使って設計料を低くする努力をしている。設計の成果である図面のデータなどは町のものになるので、次に請け負った会社に渡すことは出来るが、同じような形の建物でも、社会情勢や構造基準などが年々厳しくなったり、バリアフリー対応などで、調整、変更しなければならず、まったく同じ設計というわけにはいかない。

建設課主幹 1棟12戸3棟とか、1棟6戸とかの戸数的なこととか、給排水の管の変更などがあり、そういったことを加味しながら1から0.4までの係数で状況に応じて補正している。

問 上厚真かえで団地1号棟の、ホームタンクを置いてある建物が20cmくらい狂いがある。2号棟のも同じである。設計ミスではないのか。

建設課主幹 周りの地盤が10cm程度下がってきている。杭のないところで沈下が起こったようである。設計業者に調査させている。今後は設計に配慮する。今回の現地調査で見て欲しい。

問う！！

軽舞小学校跡地・公営住宅・高齢者の所在確認



井上次男議員

Q 軽舞小学校跡地を今後どのように利用するか

A 町の活性化につながるものを優先に進めたい



軽舞小学校跡地

問 来年3月で閉校となる軽舞小学校跡地を老人介護福祉施設等にとの声も聞かれる。今後の利用をどう考えるか。

町長 現在、跡地利用の可能性を検討しており、

町の活性化、雇用創出、人口増に繋がるものを最優先に位置づけて検討を進めていきたい。高齢者福祉施設での利用は需要をみて検証したい。

公営住宅

問 町営住宅の建て替えも終わり、据え置かれていた家賃から高くなつていくと聞いている。滞納は増えていないか。

町長 激変緩和措置の対象になる方で数件滞納が出ている。滞納されている方とは、どう改善していくか個別に相談している。

問 今後、公営住宅の建設はあるか、また、低家賃の公営住宅の建設を考えているか。

町長 来年度のかえで団地建設で、計画の建替事業は全て完了となる。低所得者用公営住宅は、需要をみてこれからの研究課題としていきたい。

問 公営住宅における駐車場は、1軒につき2台分必要ではないか。

町長 路上駐車の場合も増えている、交通安全上よくないと思っている。補助事業で建設しているため、どこまで転用できるか調査したい。また周辺の町有地を利用することも検討したい。



問 ユニットバスは全公営住宅に完備されているか。

町長 本郷かしわ団地と上厚真新団地で、2棟12戸が未整備である。この2棟は整備条件に

合わず今日にきている。なるべく早くユニット

バス化を進めたい。
高齢者の所在確認

問 独居の高齢者を誰が見取るのか。やはり一番身近な地域で支えあうのが良いと考える。

民生委員だけではなく、把握できる体制の構築が必要ではないか。

町長 来年度、災害時等要援護者登録制度というのを導入する。要援護者の台帳を整備して福祉や救急、地域の方に活用していただき、安心した地域づくりにつなげていきたい。

問 年金受給者を対象に、安否確認を含めた管理体制の必要性があるのではないか。

町長 国民年金は本人請求であり、年金受給者の生存確認は、住民基本台帳ネットワークシステムを活用している。

9月定例会の一般質問を要約してお知らせします。

詳しく知りたい方は、議会事務局、議会ホームページまたは青少年センター図書室で会議録を閲覧できます。

町政を

公営住宅駐車場・防災対策



海沼裕作議員

Q 大雨被害の算定はどのように活かされるのか

A 天災融資や復旧対策に必要な調査である

公営住宅駐車場

問 年齢層により駐車場の必要度が違ってくるが、補助事業の制約で駐車場を広げることが出来ない理由とは何か。

町長 補助事業には緑地も含めた外構工事も含まれる。補助基準では1世帯1台のスペースとなるが、町費で駐車場を整備するならばこの限りではない。

問 駐車場を拡げる考えはあるか。

町長 かえて団地6号棟は、今回の建設にあわせて対策をする。他は、予算にも関連するので来年度以降の整備となる。

防災対策

問 今年2月、津波警報が発令され、これに基づき避難勧告をしたが、勧告に従うのに時間がかかったように聞いている。避難勧告を機械的に出しているからではないか。

町長 町では、気象庁の警報の内容を確認の上、避難の内容を含む警報が出された場合発令する。人命第一の考えであり理解していただきたい。

問 8月11〜12日の大雨被害の算定方法と、この統計の活用方法はどのように活かされるのか。

町長 農作物は道で決めた算定式で計算、農業施設は復旧方法を検討し、これに関わる費用を算定する。

これを基にして、天災



8月11日大雨による農地被害

融資法の発動など、道や町も復旧対策のために必要な基礎データになる。

問 近年、厚真川の改修が進み水害の常襲地帯が変わってきている。過去に設定した水害時ポンプ排水重点位置以外に、設置箇所を増やしては。

町長 厚真建設協会と災害協定を結んでいるが、排水設備の台数に限界がある。町民の生命財産を守るため、内水排除の対応に努力する。

町民のこえを募集

厚真町議会では、議会を傍聴した感想や「あつま議会だより」を読んだ感想、厚真町議会へのご意見を募集します。

投書について

投書される方は、原稿にご自分のお名前とお電話番号もお書き添えください。

「あつま議会だより」への掲載は匿名を原則とします。

投書されたご意見・ご要望の処理結果は「あつま議会だより」にてお知らせします。なお、お名前等の記入がない投書については、取り扱わないことでもありますので、ご注意ください。

※投書は、FAXでも結構です。

FAX 0145-12712328

特産品開発・移住定住

Q

特産品開発の見通しは

A

農商工連携し
前向きに取り組む

特産品開発

問 地場産業を育成、発展させる面から、特産品開発は急がれる課題と思う。将来的見通しを含めて、現在の進捗状況は。

町長 厚真町の特産品を育成するという点から、ハスカップは、他の市町村と差をつけられるものとも有望なものと思っている。そのため、栽培面積を増やし、生産量を増やして、厚真町を認知してもらわなければならない。現在は、新たに品種登録された「あつまみらい」「ゆうしげ」の栽培面積、生産量を増やすため、苗木助成をしているところである。

問 面積も生産量も一位



になりつつあるようだが、そこで、馬路村の「ゆず」のように、一次産品のみならず、加工品開発が急がれる。

加工場を含めて、取り組む考えは。

町長 ハスカップの加工品についてはまだ手探りの状態であるが、付加価値

を高め、また、雇用の場をつくるという意味もある。

農商工で連携しながら、加工場ができることが理想であり、期待をしながらいろいろなおところに相談しているところで、前向きに取り組んで生きたい。



今村昭一議員

移住定住

問 上厚真地区の市街地整備は、苦小牧東部地域からの通勤圏であるという観点から、大きく促進していくべきと思うが、現在の状況と、今後の考えは。

町長 全国的な人口減少の中、厚真町も5千人を割って数年経ったが、昨年来減少に歯止めがかかってきている。これは、本町の移住定住の政策が効果を上げてきているものと思う。21年度、上厚真と本郷地区で整備した定住促進住宅は、30代以下9世帯が移住し、入居者34人中16人が就学前という若い世代である。

18年度からの町内の土地分譲状況は40区画で、うち、町外からの移住者の住宅建設が15戸で、今年度未だにさらに数戸予定されており、これは苦小牧、千歳への通勤圏という地の利と思う。

これからも、住む場所

宅地分譲、子育てなどで、若い世代に住んでいた、たく施策を展開していきたくい。上厚真はその柱になると考えている。

また、上厚真自治会特別委員会が現在検討している整備計画について、まとまった段階で、事業の優先度や財源確保などを検討し、実現可能なものから進めていきたい。

問 苦小牧東部はイオン以来次々といろいろな店が進出してきている。通勤圏として大いに勧誘する地域と思う。

上厚真地区の今後の宅地造成可能地もあわせて考えは。

町長 分譲地の残りは、上厚真が3区画、ルーラルは3区画、表町17区画、新町5区画である。

上厚真では6号線沿いで民間の分譲がある。公社所有地も5千坪あり、状況を見ながら弾力的に対応していく土地はある。

子宮頸がん予防・独居老人の救急対応

問 国と道で基準が示されればそれにならうのか
町長 23年度に国、道の補助があれば、それに町の補助を上乗せすることで個人負担が軽くなる。

問 対象者は何歳ぐらいからを考えているか。
町長 免疫力がつきやすい年齢を考慮して、中学生女子が対象になると思う。

問 子宮頸がん予防接種への助成は、その後のどのように進んでいるか。
町長 23年度から取り組む予定で、医師、学校関係者などと打ち合わせをする。

子宮頸がん予防

A 援護が必要な人の情報を集めて活用出来るようにしたい

Q 独居老人の救急のときに必要な情報を伝えられているか

そのときには補助対象が示されるので、それを考慮して対象を決めたい。

問 6月定例会の一般質問後、教育委員会と学校側と話し合いを持ったか。
町長 まだ終わっていない。この秋に打ち合わせをするよう伝えていられるので、まだ話し合いの場が持たれると思う。

独居老人の救急対応

問 一人暮らしのお年寄りが急病の際に、服用している薬や緊急連絡先を円滑に伝えてられているか。
 高齢者の安全安心の確保のため、かかりつけの病院、持病などの医療情報や薬剤情報、診察券、



三國和江議員

健康保険証、本人の写真などの情報を専用の容器に入れ冷蔵庫などに保管しておけば、適切で迅速な処置が行える

問 町でそのような救急情報キットを考へてはどうか。
町長 救急救命に必要な情報を、どう救急隊員に伝えるかというのは重要な課題である。緊急通報装置をつけているところが情報を把握しているが、すべてに設置しているわけではない。そういった意味で救急情報キットのようなものをどう進めていくか検討している。

また、来年度から、災害時要援護者登録制度の導入を予定している。

問 白老町で高齢者見守り携帯電話が開始された。高齢者の安否確認に評価が高いようである。町でもそのような一人暮らしの人を見守る対策を立てる必要があると思うが。
町長 情報を収集して、いろいろな機関、いろいろな方々に生かしていただくようにする。

また、高齢者と、健康管理する側で、双方向に情報のやりとりが出来るような情報基盤を検討したい。

問 何歳ぐらいからそのような情報の把握をするか。
町長 65歳位を基準に考えた。

災害時要援護者登録制度も、その辺を基準に考えているが、高齢者以外の必要な方は年齢制限はしない。

みんなの町政です

議会を傍聴してみませんか

町議会は、町の予算や身近な問題について話し合う大切な会議の場です。

あなたも議会を傍聴してみませんか。

◎次の定例会は12月中旬の予定です。

8月大雨災害



米田俊之議員

Q 大雨災害防止のため入鹿別川の早期改修を

A 緊急性は認められたと思うので道への要望活動を強めたい

問 昨年から入鹿別川の改修工事が始まり、地域住民の方もいくらか安心してはいたが、今回の大雨では上から下まで越流してしまった。

改修のスピードを上げて欲しいというのが、地域共通の思いである。道へ要請してはどうか。

町長 8月の状況を道出張所の所長にも具体的に見てもらった。非常にひどい状況だと認識していたようで、緊急性は十分に認めてもらったと思う。これからも道への要望活動を強めていきたい。

問 ハンドル型の樋門の管理で非常に苦労している。閉めるために1時間半近く掛かり、大雨の中で危険を感じながらの作業である。命に関わる恐れもあり、改修すべきではないか。また、鹿沼の樋門の管理を田浦の人がやっているとところもある。改善できないか。

町長 一人で3箇所管理されている方もいる。また、鶴川から厚真に横断して管理されている方もいる。旧式の樋門が並んでいることも承知している。早く改修してもらおう。早く町としても要請活動を強めていく。地域の改修推進期成会もあるので、そちらからも道へ声を上げていただきたい。

問 河川の中に個人の敷地がある。これは解決できないか。また、今回の大雨で上流部分の砂防施設が痛んでいる。災害復旧計画はどうなっているか。

町長 河川の改修に合わせて、その敷地を確定して用地処理をしていくことになっている。

建設課長 側壁は過去に開発局が造った当時のものだが、凶面も残っていない。

今、現地調査をしているが、側壁をどのように

するか、あるいは再利用できるものがあるか、検討している。直す方法や、財政面も合わせて資料を持って道と相談し、どういう事業が使えるか、普通河川としてどういうことが出来るか考えたい。

町長 道州制で行われている、道の河川改修の進み具合を見ながら、上流にある町管理の流域で施設整備等の程度、老朽度を見て、今後の河川改修の方法などを協議していきたい。

問 その場所から農業用水を取っている。取水に影響が出ないよう検討して欲しい。

町長 現設備を有効に活用するためにも、応急的な措置が必要なものは地権者の皆さんそれぞれと具体的に相談しながら検討したい。



鹿沼地区の旧式樋門

一般質問

防災対策・ハスカップの振興・交通安全対策・観光振興・ 消防分遣所の役割・窓口の現金管理・公用車の処分



平井の沢川の越流の様子

問 フォーラムビレッジ下流の平井の沢川が8月11～12日の大雨で越流した。水害対策を優先すべきでは。

町長 8月12日の豪雨では、田に水を上げるための堰がそのままになっていたので、平井の沢川が越流したと思われる。

防災対策

ハスカップの振興

問 栽培面積22haで日本一になったハスカップを今こそ集中的に支援する時だと思うが。

町長 ハスカップは非常に有効な作物だと思うので、PR、生産量の確保、所得の確保など、トータルで取り組む時期に来ていると思う。

交通安全対策

問 上厚真駐在所前交差点はフェリーターミナルができたあと交通量が増え、交通事故も発生している。早急に改良の必要があると思うが。

町長 道道浜厚真停車場線と、上厚真市街の交差点が、難所になっているというのを実感している。

観光振興

問 こぶしの湯周辺の駐車場や、スポーツセンターへのアクセス路などは環境整備をする必要があると思うが。

町長 特産品広場やスポーツセンターへの導線

道では、すでに実施設計を完了していて、23年度の着工完成に向けて予算要求したという回答をいただいている。



下司義之議員



特産品販売広場

整備ができるかどうか前向きに取り組んでいきたい。

問 浜厚真海岸活性化計画の策定状況はどのようなになっているか、また、海岸の名称を変更できないか。

町長 臨界施設ゾーン活性化基本計画を策定中であるが、施設、アクセス道路は早めに整備したい。名称は、印象に残るように変えたい。

消防分遣所の役割

問 町の救急体制として、消防上厚真分遣所の役割をどのように認識しているか。

町長 人口的には必要な消防は1か所であるが、石油備蓄基地、火力発電所などがあることから、防災拠点としては町内に2か所あった方がいいと思う。

また、浜厚真の入り込み、上厚真市街地の人口増を見込むと上厚真分遣所の重要性は変わらないと思う。

窓口の現金管理

問 現金の収受にレジスターなどの方法を導入できないか。

町長 現金の収受は、誤解を招かれないようにする必要があると思う。

公用車の処分

問 車両の入れ替え廃車は適切に行われているか。

町長 販売店への下取りを優先するなど適切に行われている。

少子化対策

Q 保育環境や施設をどのよう
うにしていく考えか

A 保育所を充実させるため
認定子ども園化を検討



木村幸一議員

問 総合計画の3カ年計画の後半に向かって、子育てを街全体で支える体制づくりについて、その中でも特に保育に対する環境や施設のことについて、具体的に示されていない。今後の対応についての考えは。

町長 本町では柱として、「子育てをまち全体で支える体制づくり」「安心して子育てが出来る環境づくり」「母子の健康を守り、健やかな子どもを育むまちづくり」という3つの基本目標を立てて取り組んでいる。

町内には、常設保育所が1箇所、へき地保育所が3箇所ある。これを核にして子育てを支援していく。それから学童とい



う視点で学童保育にも取り組んでいく。少子化の時代にあつて、子育てをする家庭が孤立している状況が改善されていない

こともあるかと思う。こういうものを地域全体で支えていく時代に来ていると思つているし、働く場所も含めて子育て

に優しい時代にならないければ、なかなか少子化は解決しない。

町としては保育所のあり方をもう少し充実させることが出来るのではないかと、京町保育園を認定子ども園に進化させるべく検討している。

問 現在、町内で保育に欠けないということ、保育園に入園させられない子どもはどの位いるのか。

町長 22年度8月現在、0歳から6歳までの乳幼児で73人いる。

問 希望する親が、子どもを保育園に入園させられるようにする考えはあるか。

町長 子育ては地域社会全体で支えていくべきだ、という認識に立っている。孤立する母親をなくすためにも、希望があれば出来る限り保育園で預かるのが、時代にマッチしていると思うので、今の

認可保育所を発展的に解消して、認定子ども園的な保育所にする事で受け入れが可能になるので、ぜひ実現させたい。

問 施設はどのように考えているか。

町長 京町保育園を増築して、3〜6歳の子どもは全員受け入れられるようにしたい。3歳未満は半分以上が入園と仮定して規模設定をし、その上で年長の親にアンケートを取って規模を決定したい。

問 保育時間の延長についての考えは。

町長 延長については、体制をどうするかで解決する問題なので、前向きに考えていきたい。

問 いつから体制づくりにかかるとか。

町長 23年度に認定子ども園の実施設計に掛かりたい。

追跡レポート

あの一般質問のその後は？

定例会での一般質問がその後どのように町政に反映されたか追跡しました
(平成19年12月～)

【平成19年12月定例会】

上厚真市街地の整備計画

定住促進、人口増加の面から、上厚真市街地の街路整備事業の推進計画が必要ではないか

町長答弁

市街地整備を検討したい

上厚真市街もきれいな街にしていかなければならない。
今後の課題として十分検討していきたい。

その後…

地域住民と町が協力して整備計画を検討中

移住定住を含めた上厚真市街地整備を検討するため、地域の若手住民6人による、上厚真自治会特別委員会が設立された。町と一緒に整備計画を集約しているところで、本年12月20日までに構想が出来る。その後、実施計画に基づいて、年次的に出来るものから進めていく。

【平成20年9月定例会】

農産物の地域ブランド

いろいろな農産物がたくさんあるが、近隣の街に後れを取っている。今後の開発は。

町長答弁

ブランド化に取り組む

ブランド化に向けて、プロの目から見たあらゆる可能性を探る努力をしたい。
おふくろみそはブランドとして定着しつつあり、そのほかハスカップなどの的を絞り込みながら、取りかかれるものからこつこつと農産物ブランド化に取り組んでいきたい。

その後…

ブランド化の支援

「ゆうしげ」「あつまみらい」のハスカップ2品種が品種登録されたのを機に、22年度からブランド化事業を開始した。今後10年間、新品種作付けの苗木購入を一部支援する。
また、多品目化への取り組みのために新規振興作物導入事業を始める。

【平成20年12月定例会】

テレビ難視聴対策

地上波デジタル化に伴う難視聴者に対する町の対応は。

町長答弁

町が責任をもって対応する

国の姿勢も変わってきているので、共同アンテナ方式の導入も含めて総合的に対応する。

その後…

共聴施設と個別により対応する

平成22年第3回定例会において、テレビ難視聴対策事業を予算化し、共聴施設設置による難視聴者解消へ向けて動き出した。
個別には、NHKの助成金を受ける手続きなどを支援する。

胆振管内町村議会議員研修会

海沼裕作議員

去る9月30日に行われた議員研修会のレポートを紹介しします。

福沢諭吉の事件簿

講師の鷺田小弥太氏は札幌大学教授で父は白石村長だったという。

講演内容は、福沢諭吉・坂本竜馬・勝海舟ら3人の人間性を比較しながら思想から実践への流れそして「学問のすすめ」を通じ新しい世界観を形成していく。

「人の上に人を造らず人の下に人を造らず」というが、人間差は学ば（働か）ないから差がつくということだ。学べ（働け）ばその人に成功がもたらせる。これが自由主義で「学問のすすめ」という。

テレビが普及し始めた頃、一億総白痴という言葉が流行したことを思い出す。

選挙の結果や民主党政権誕生にもマスコミが国民に知らず知らずのうちに政治の流れを刷り込んだ。

また、政治経済アナリスト達に贈られた国家秘密費が国民を煽動していることもものごと、メディアの申すとおりの社会になってきている。

マスコミという狂言に惑わされず、自分の考えを言えば良いと思う。人間だもの、間違ってもそれは間違いで許される。それを期に学ばばよいことだ。



とだ。

特に初等教育の場面でも卒業式では将来の夢が本当に偏りすると思っている。独自の志や思想を強く持ち追求してゆくと大切だと思う。

あっちへ行つてハイ、こっちへ来てもハイではNOといえる独立心がある日本人ではないと思う。

議会をめぐる最近の状況

道内町村議員の総まとめをする、北海道町村議会議長会事務局次長村川寛海氏が講師で「対立する議会と首長」と題して行われた。

鹿児島県阿久根市竹原信一市長は防衛大学を卒業し2等空尉で退官、竹原市会議員を経て市長となった。

渡島の森町佐藤克男町長は24年生まれで今年任期が定年を迎える。

両団体とも対立の根源はわからないところだが、

結果を見るにおいてはどちら議員数を減らし報酬を減らすということだ。これは、議会制民主主義を否定する結果となり将来、議会不要論につながる懸念も禁じえない。

議会もなぜ住民感情に追随し理想を追求する事が出来なかったのか自問自答している。

大げさに言えば、首長には自分を批判監視する議員が少なければ少ないほうが良いに決まっているが、佐藤克男森町長は「多くの議員がいた過去に談合事件が起きた。」と多くの議員は必要ないと結論している。

でも私は、大勢をなさなければ議会力は出来てこないと思う。

9月定例議会・臨時議会の議決案件（賛否状況）

平成22年7月22日（木）（臨時議会）

議案番号	議 件 名	賛 否
議案第1号	上厚真かえで団地公営住宅（6号棟）建築工事請負契約の締結	賛成全員
議案第2号	物品の取得	賛成全員
議案第3号	町道路線の認定（フォーラム中央線）	賛成多数
	反対者1名（下司議員）	
議案第4号	町道路線の認定（フォーラム1号線）	賛成多数
	反対者1名（下司議員）	
議案第5号	町道路線の認定（フォーラム2号線）	賛成多数
	反対者1名（下司議員）	
議案第6号	町道路線の認定（フォーラム3号線）	賛成多数
	反対者1名（下司議員）	
議案第7号	町道路線の認定（フォーラム4号線）	賛成多数
	反対者1名（下司議員）	
議案第8号	町道路線の認定（フォーラム5号線）	賛成多数
	反対者1名（下司議員）	
議案第9号	平成22年度厚真町一般会計補正予算（第3号）	賛成多数
	反対者1名（海沼議員）	

平成22年9月9日（木）～9月10日（金）（定例議会）

議案番号	議 件 名	賛 否
同意第1号	厚真町教育委員会委員の任命	賛成全員
同意第2号	自治功労賞表彰	賛成全員
同意第3号	自治功労賞表彰	賛成全員
議案第1号	名誉町民の推薦	賛成全員
議案第2号	平成22年度厚真町一般会計補正予算（第5号）	賛成全員
議案第3号	平成22年度厚真町老人保健特別会計補正予算（第1号）	賛成全員
議案第4号	平成22年度厚真町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	賛成全員
議案第5号	平成22年度厚真町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	賛成全員
議案第6号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定	賛成全員
議案第7号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更	賛成全員
承認第1号	専決処分の承認（平成22年度厚真町一般会計補正予算（第4号））	賛成全員
意見書案第1号	道路の整備に関する意見書	賛成多数
	（反対者1名）米田議員	

第3回臨時会

7月22日開会

■上厚真かえで団地公営住宅（6号棟）建築工事請負契約の締結

・ 契約方法

・ 指名競争入札

・ 契約金額

1億1、476万5千円

・ 契約の相手方

木本・清和経常建設
共同企業体

■物品の購入

・ 物品の名称

・ 財務会計システム

・ 取得の方法

・ 随意契約

・ 取得金額

3、580万5千円

・ 取得の相手方

北海道市町村備荒資金組合

■町道路線の認定

（フォーラム中央線）

（フォーラム1号線）

（フォーラム2号線）

（フォーラム3号線）

（フォーラム4号線）

（フォーラム5号線）

フォーラムビレッジ内の予定道路が町道として認定されました。

■一般会計補正予算

・ 鳥獣害防止総合支援事業補助金など、合計77

4万円が追加され、予算

総額は64億6、035万

9千円になりました。



8 月

5日・むかわ町議会視察来町

11日・富山県高岡市議会視察来町

20日・広報委員研修会

23日・宮城県大郷町議会視察来町

24日・美幌町議会視察来町

26日・増毛町議会視察来町

9 月

3日・議会運営委員会

9～10日・平成22年第3回定例会

10日・議会改革調査特別委員会

10日・議会広報特別委員会

28日・議会広報特別委員会

30日・胆振管内町村議会議員研修会

10 月

4日・議会広報特別委員会

13日・議会改革調査特別委員会

14日・長野県豊丘村視察来町

18日・議会広報特別委員会

26日・総務文教常任委員会

27日・産業建設常任委員会

あとがき



インターネットは怖い

先日、札幌で議会広報の研修会が行われた。

講演の中で講師がありのままの議会公開こそ議会広報の基本であり、完全公開こそ議事公開であると言っていた。

完全公開といえば、町議会でも現在本会議のインターネット中継を行っている。まさに完全公開であり、信念を持って発言する勇気、一言一言の大切さ、

講演の最後に講師がこう言っていた。

「編集後記は不要である」

広報委員 下司義之